

平成30年6月9日(土) 正午

豊川海軍工廠 平和公園開園

かつて東洋一の兵器工場とも称された豊川海軍工廠があった場所に、戦争遺跡を保存活用した豊川海軍工廠平和公園が開園します。

この場所は、昭和20(1945)年8月7日の空襲で二千五百人以上が犠牲となるなど、悲しい歴史を刻んだ場所でもありません。

公園内には、歴史の生き証人である海軍工廠の火薬庫や信管置場などの戦争遺跡や、海軍工廠の歴史などを紹介する平和交流館があります。この公園を訪れ過去の歴史を学び、平和の尊さについて考えてみませんか。

開園記念シンポジウム

日時●平成30年6月24日(日)
午後1時30分から

会場●豊川市文化会館中ホール
入場料●無料

豊川市豊川海軍工廠平和公園

開園時間●午前9時～午後5時
6/9(土)は正午から
休園日●火曜日(祝日の場合は開園)
年末年始(12/29～1/3)
入園料●無料
場所●愛知県豊川市穂ノ原三丁目13-2



- 車** 東名高速「豊川IC」から約10分(駐車場約60台)
- 電車** 名鉄豊川線「諏訪町」駅下車徒歩約30分
- コミュニティバス** ゆうあいの里小坂井線「穂ノ原三丁目西」下車徒歩約5分



募金ありがとうございます

西村 英二 さん

会費納入と会員拡大の御願い

当会の活動は、会員の皆さまの会費と募金で支えられています。

戦争遺跡の調査・研究の必要性和平和のための保存・活用の意義は益々高まっています。

当会の維持発展のため会費納入と会員拡大に御協力を御願ひします。



太平洋戦争末期、激しい戦闘が行われた沖縄に、諜報活動など秘密戦を学んだ陸軍中野学校身者の四二名が潜伏した。彼らの任務は何だったのか。集められた「護郷隊」の少年兵や住民はどのように戦争に巻き込まれたのか。元兵士への丹念な聞き取りなどから、大本営参謀本部直轄の陸軍中野学校が組織的にいかに沖縄戦に関与していたのかを浮き彫りにした書。